

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「学びを通して 共生 共感 創造 を育みます」 ○お互いを思いやり、認め合い、社会に貢献しながら共生できる生徒を育みます。(公・開) ○自分らしさを豊かに発揮し、心身の健康を考え安全・安心な生活を送ることのできる生徒を育みます。(徳・体) ○興味関心を広げ、自ら創造・工夫し課題に取り組み、夢をもち未来をたくましく切り拓いていく生徒を育みます。(知・徳)	<グローバル化の中 で生きる力> <自分づくりに関する力> <確かな学力>

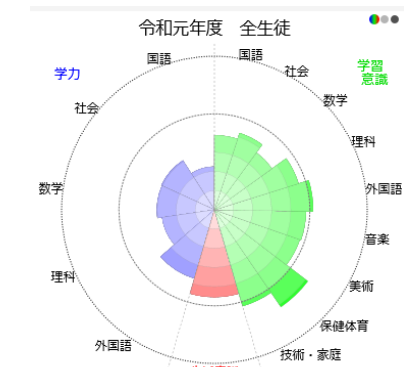
(2) 中期取組目標

中期取組目標
魅力ある「私の学校・私の町おらが学校」となる横浜吉田中学校を目指します。 ○本校の教育環境を生かしたグローバル人材育成の教育をすすめます。 ○新学習指導要領に基づく教育課程の改善をすすめます。 ○外国につながる生徒の指導を含め一人ひとりの実態を把握し、共通理解のもと組織で動く生徒指導をすすめます。 ○校内環境整備を大切に、落ち着いた環境づくりをすすめます。 ○地域・社会との連携を大切に、オール横浜で創る教育をすすめます。

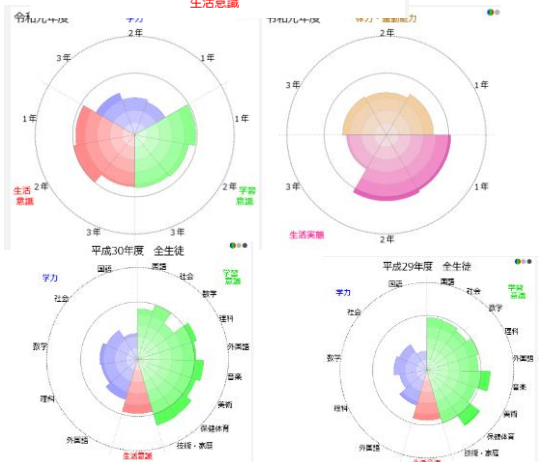
(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	○学びの基礎基本の確立や日本語支援等を放課後学習支援及び日常的な学習規律等の定着を組織的に実施し、充実を図る。
担当 学習指導部	○引き続き校内授業研究や授業研究週間等の実施を進め、全校で組織的に取り組む。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析
 本校では、外国につながる生徒の割合が約 5 割に近い現状にある。学習言語や家庭環境の要因により、学習の理解が厳しい生徒も多数いる状況である。言語の理解に支援が必要な生徒が多く、特に国語の結果に顕著に示されているように学力面では横浜市の平均を下回り、多くの教科で理解できていない生徒の割合が高い結果となった。学習意欲が確かな学力に結びついていない現状を踏まえ、授業力の向上や改善に向けて職員全体が強く意識し、組織的・継続的な取組をすすめる。



(2) 経年変化の状況と要因の分析
 経年変化の状況から、学習意識および生活意識はほぼ横浜市の平均と同程度、また超える面も増えてきている。
 学力面では、基礎・基本の学力の定着と「個に応じた指導」の充実と授業改善に取り組み、個々の生徒のニーズや必要な支援の把握、チームとしての学習支援などを通して、少しずつ成果が表れている教科も見られるが、全般では市の平均を下回る状況にある。生徒の理解度に応じて、必要な学習習慣の定着とさらに思考力・発展的な学習の取組として、国際教室での取り出し授業や放課後学習支援等の支援体制、数学での少人数指導や英語での5ラウンド制などの授業実践などをさらに、より一層の支援・指導の充実に努める。

3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	国語を適切に表現し、 正確に理解し、伝え合 う能力	国語で伝え合う力を進んで高めると ともに、思考力や想像力を養う言語活 動を展開する。	言語感覚を豊かにし、思考力や想像 力を高め正しく伝えあう力を育成 する。
社会	主体的に社会参画する 姿勢	国際社会に主体的に生きるための資 質能力を育成し、他国や自国の文化を 尊重する。	社会に対する関心を高め、多角的・ 多面的に考察する学習を展開する 中で、個性を発揮し、判断する力を 育成する。
数学	数学を活用して事象を 論理的に考察する能力	数学の事象から問題を見だし、解決 に向けて見通しをもち、数学的な表現 を用いて説明し合いながら、より良い 考えに高めていく授業を展開する。	他者と関わって日常の事象を数理 的に考察したり論理的に説明した りする数学的活動を展開する。
理科	自然の事物・現象の中 に課題を見だし、科 学的に探究する力	自然に対する関心を高め、科学的に調 べる能力を育て、探求するとともに事 象を生活とのかかわり考え表現する。	観察・実験を通して過程や結果を整 理し、分析・解釈して表現する学習 を展開する。
音楽	伝え合うことで自分の 考えを深化させる力	個性を生かして主体的・創造的な音楽 活動を行うことで感動や楽しさを共 有する授業を展開する。	生徒同士が主体的に、関り合う場面 を多く設定し、より良い音楽活動・ 表現を目指す力を育成する
美術	自分らしさを発揮しよ うとする姿勢	造形および鑑賞の活動を通して、美し いものに触れる喜びと感じたことを 表現する楽しさを味わうことができ る授業を展開する。	生徒自身が強く表したいことを主 題として、根拠をもってよさや美し さを考える力を育成する。
保健	自己肯定感	運動に親しむ習慣を大切にし、ともし 楽しさを味わい、自分の特性を生か し、自分の特性を生かし、課題に取り 組み、解決する。	生徒が学習の見通しをもち、自らの 課題を発見し、課題解決を図る取組 を通して、運動の楽しさ、達成感を 味わえる授業を展開する。
技・ 家	課題に対応する力	実践的・体験的な学習を通して、主体 的に生活を築き上げる能力が育つよ うに授業を展開する。	見方・考え方をハタラカセ、生活や 社会の中から問題を見いだして課 題を設定し、取り組む力を育成す る。
外国語	伝え合うことで自分の 考えを深化させる力	コミュニケーションを行う目的や場 面、状況などを設定し、生徒が主体的 に表現し、伝え合う学習過程の改善・ 充実を図る	外国語で表現し伝え合うことを通 して、社会や世界、他者とのかかわ りに着目して捉え、考える力を育成 する。
道徳	伝え合うことで自分自 身の考えを深化させる 力	道徳的行為に対する体験的な学習を 取り入れ、いろいろな人との交流をと おして、自己を見つめ、考えを深める 学習を展開する。	体験的な学習のねらいを道徳科の 時間と関連付け、他者の意見に触 れ、多面的・多角的に考える場面を 設定する。
特活	自己有用感	所属する様々な集団での活動を通し てその解決のために多様な他者と協 働しようとする活動を設定する。	集団の一員としての自覚をもち、多 様な他者と関わりあいながら、自分 のよさを生かして活動する態度を 育成する。
総合	伝え合うことで自分の 考えを深化させる力	行事などの活動の中で、各自がやりた い事・課題を明確に見だし、多様な 考えを出し合いながら、課題解決に向 かう。	過程を振り返りながら子ども自身 が次の学びを生み出していく力を 育成する。
個別 級	課題に対応する力	個別の指導計画に基づき、個々の実態 に応じた授業形態の工夫や学習集団 の工夫を行い、指導の充実を図る。	さまざまな交流を通して、自分のよ さを生かし、可能性を伸ばすような 自己表現ができるよう指導の充 実を図る。